

2020年10月7日(水)

サンクチュアリ(第1ポンド)

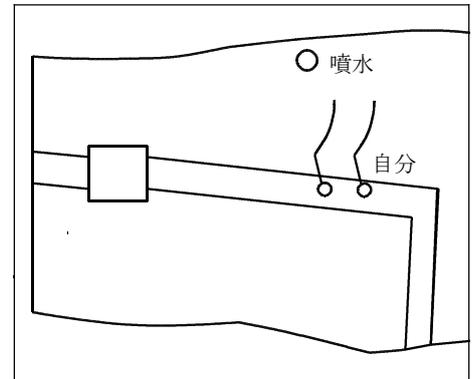
ニジマス

自分19尾 ツレ12尾

【料金】 半日午後 男性 ¥3,500 女性 ¥3,000

【様子】

- 曇りのち雨。風なし。水は濁っている
- 水曜日は放流なし、餌撒きあり。
- 今日は第1ポンドのみである。
第3ポンドは9/30で終了 第2ポンドは10/11からオープン
- めあて ・スプーンで釣る。/・自作ルアーで釣る。
・午後から入って30尾釣る。



12時15分～2時00分

2尾

- 栈橋があいていたので噴水を左に見えるところに入った。
- スプーン1.5gで始めたが反応なし。
- 自作ルアーを投げるもさっぱりダメ。
- スプーン0.7gでやっと1尾取った。開始から1時間30分たっていた。スプーンを変えて1尾追加。午後2時までに2尾となった。
- ・ジギルjr 0.7g 蛍光オレンジ 1尾
- ・ジギルjr 0.7g 灰色に茶色散らし 1尾

2時00分～4時30分

14尾

- 今日は表層ということか。プチモカSR(SS)ミドピーノで表層を狙った。何尾か取った。
- 午後3時、雨が降り出した。少し休憩した。雨が止まない。カッパを着て釣ることにした。
- ベッキー、プチモカSR(SS)で連続ヒットした。
- ・ベッキー 0.35g 銀の縁にピンク 2尾
- ・プチモカSR(SS)ミドピーノ 多数
- ・プチモカSR(SS)イレーションペレット 数尾

4時30分 餌撒き 3尾

- しずくを試した。しずくESで2尾、しずくSTで1尾取った。どちらも着水と同時にヒットだった。
- リフト&フォールがうまくできない。リフト&フォールで釣れなかった。
- しずくESは餌撒き用としてよいとは思えない。
- ・しずくES 黄土色 2尾
- ・しずくST 薄茶 1尾

【ヒットルアー】

- ・ジギルjr 0.7g 蛍光オレンジ 1尾
- ・ジギルjr 0.7g 灰色に茶色散らし 1尾
- ・ベッキー 0.35g 銀の縁にピンク 2尾
- ・プチモカSR(SS)ミドピーノ 多数
- ・プチモカSR(SS)イレーションペレット 数尾
- ・しずくES 黄土色 2尾

【トップの釣り方】

トップの釣りが得意なツレに釣り方を教えてもらった。

- ①トイッチをする。(竿先を手前に引く)
- ②竿先を手前に引いたら、すぐに竿先を元の位置に戻す。
- ③竿先を元の位置に戻したら、糸を巻く(糸ふけを取る)。

トイッチを入れたらすぐに竿先を戻すことである。これにより、ルアーが動く距離はごく僅かになる。②で竿先を戻すことで(そういう意識により)、竿先を長く引くことがなくなる。竿先を長く引くと、ルアーが大きく動いたり、時には水面から飛び出したりする。

【振り返り】

<プチモカSR(SS)とモカSR(SS)>

- モカSR(SS)とプチモカSR(SS)の使い分け

今日は表層、特に表層でも上の方が棚であったことから、モカSR(SS)ではなくプチモカSR(SS)が有効であった。表層上部ではプチモカSR(SS)を、表層やや下部から宙層はモカSR(SS)を使う。表層上部ではモカDR(F)も有効かもしれない。ゆっくり巻けば潜らない。

- プチモカSR(SS)の使い方

ゆっくり巻く(「ゆっくり、ゆっくり」と唱えながら巻く。「ゆっくり、ゆっくり」でリールハンドル1回転)。これでプチモカSR(SS)は沈んでいく。当たりがなければ、竿をグイーと立ててプラグを表層まで持ち上げてくる。それからリトリブする。持ち上げることで、泳層を棚まで戻すことができる。また、これが誘いとなる。棚を泳いでいるときに誘いをかけたいときは、竿を水平に引っ張ってくる。上に上げるときも水平に引くときも、引っ張った後の巻き始めにヒットすることが多い。

- プチモカSR(SS)が一定層を泳がせたときに釣れたときもあった。この時の巻きスピードはやや速めである。ミドピーノなら一定層を泳ぐのを確認しながら巻くことができる。

- カウント5~8でミドピーノの色が見えなくなる。今日はこの深さでは深すぎだった。ミドピーノの色が見えなくなったら、引き上げて誘いを掛けるという感じであった。

- 表層上部で釣れなくなったとき、カウント5で連続して釣れたこともあった。

<マイクロ Spoon>

- 1g未満のマイクロ Spoonであっても、泳ぐスピードがある。ゆっくり巻けば良いというわけではない。巻きスピードとロッドの位置(ラインが水面に入る角度)で泳ぎが変わる。泳ぎが悪ければ掛からない。よく泳ぐ角度はロッドを寝かせること。ラインが水面に入る角度が鋭角である。ロッドを立てて(ラインが水面に入る角度を鈍角にして)釣ってもあまり釣れた記憶がない。鈍角で釣れたのはNOAくらいである。NOAではあまり釣れた記憶がないので、このあたり(角度とスピード)を検証したい。

- 当たりにない、マスが近づいてもこないというときは、ルアーを早く見切るべきだ。

- 一投目が大切。例えば、同じ銘柄の Spoon やクランクを投げる場合、本命の色を投げる前に派手目な色を投げて、泳ぎ方(巻きスピードと角度)を確認した後、投げるというのも方法である。

- Spoon で釣れる色は茶系である。まずは、派手系で泳ぎを確認してから、本命の茶系を投げてはどうか。

- マイクロ Spoon の重さの違いは、表層の棚の違いと考えると良い。表層でも上部の方なら軽いものを、下部の方なら、重いものを投げる。つまり、0.9gと0.6gと0.35gの違いは、泳がせる泳層で使い分けるということ。

<フックの交換>

○プチモカSR(SS)ミドピーノで3回ほどバレたので、鉤を交換した。これ以降、バレることはなかった。今後は、2回連続してバレたら、鉤を交換しよう。

<魚の活性>

○午後から始めるときは、午後3時まで活性はどんどんと下がっていき、午後3時を回ると、マスが動き出し、夕まずめに近づくにつれ、活性が上がってくることを念頭に置いて、ルアーローテーションを組む。

【自作クランク「しずく」について】

○しずくSTは、どの色にも反応がなかった。今日は、表層上部が棚であったことから、しずくの沈下速度が速すぎるため、棚を素通りしていく感じであろう。もっとゆっくり沈下していくよう調整しなければ釣れない。○しずくESは餌撒きで釣れたが、着水と同時にヒットであった。リフト&フォールがうまくできない。まだまだ研究検討の余地がある。

【ツレの釣果】 合計12尾

・トルネード 自作 赤	1尾	
・サーフェスエアブローF カモフラペレットオールスターズ	1尾	トップ
・デカミツツ 透明 青色散らし	4尾	トップ
・モカSR(SS)ミドピーノ	3尾	
・Pellet Pellet F ダークブラウンペレット	3尾	餌撒き (シンカーでSSに)

【購入アイテム】

○Pellet Pellet SS サンクTHEペレット(サンクチュアリ オリカラ) を購入した。
○スタッフ安藤さんから撒いていたペレットをもらった。